

想心

SOU

JR九州病院 広報誌

「そう」

2008年 春
Vol.8

目次 / Contents

- P1 ドクターあいさつ(向井部長)
- P2 特集1 眼科特集
- P3 特集2 病棟紹介
- P3 特集2 新任ドクター紹介
- P5 地域医療ネットワーク
- P6 診療案内 医師の専門領域
- P7 インフォメーション・病院からのお知らせ



vol.8

JR九州病院

勤務医としての役割

向井 亮

JR九州病院 内科部長



JR九州病院に赴任して12年が経ちますが、その間に療養病棟の開設、10年待たずして介護病棟の閉鎖、電子カルテの導入（現在進行中）と病院のシステムは目まぐるしく変化しています。

こうした中でも自分の役割は変わりなく勤務医としての役割を果たしているのかと考えています。いくつか気をつけていることをあげると

たとえば、患者さまに早く元気になっていただくこと。

「医師として当然だろう」と思われることですが、そのために日々新しい知識を得、それを診療に生かしていくのはやはり努力を要するものであり、十分実行できているのかいつも不安に思いながら診療にあたっています。また、意識していないと忙しいときには忘れがちになりますが、できるだけ患者さまの訴えに耳を傾け、病気からくる不安や心配ごとを取り除けるようにと、心掛けています。

ほかには、患者さまの病気に対する教育・指導。

慢性疾患の治療は医師が熱

心だけではうまくいくものではありません。病気の成り立ちや症状を十分に理解していただき、患者さま自らが病気に立ち向かっていけるようにすることが必要だと考えています。すなわち、医師と患者さまが一緒になって治療にあたるということが理想と考えています。

特に最近増えている糖尿病、高血圧、脂質異常症（高脂血症）など生活習慣と密接に関係している病気では食生活を中心とした指導が必要であり、当院では糖尿病教室などで生活習慣病の教育・指導にあたっています。

あまり大きな目標ではありませんが、医療を取り巻く環境や制度が変化していく中でもいつも地域の役に立てる医師でありたいと考えています。



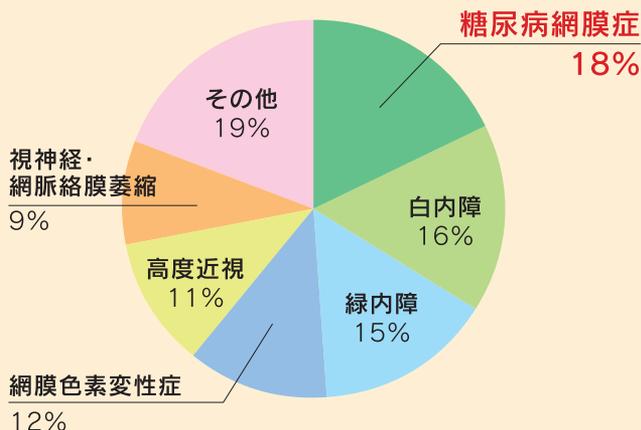
ナウ& ネクスト

医療における、さまざまなホットな話題
およびネクストシーンを紹介するコーナー

近年、患者数の増加が著しい病気の代表に、糖尿病があります。国内の患者数は約690万人、予備軍を含めると、約1,370万人になります。全身に及び合併症をひきおこす油断できない病気です。特に「三大合併症」と言われる「網膜症」「腎症」「神経障害」は、発症頻度の高い重大な慢性疾患です。

眼の合併症は、糖尿病と診断されたときから定期的な眼科の検査を受け、糖尿病と眼科の適切な治療を続けていれば、防ぐことが可能です。しかし、実際には糖尿病を放置している人が少なくなく、毎年3,000人以上の方が、糖尿病の合併症で視力を失い、成人の失明原因のトップとなっているのです。

視力低下の原因

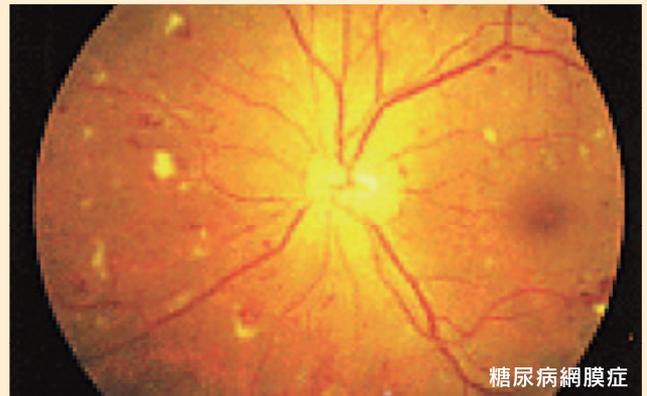


糖尿病で眼が悪くなる?!

近年、患者数の増加が著しい糖尿病。今回は糖尿病の合併症の一つ「糖尿病網膜症」について特集します。

糖尿病網膜症って？

目の奥には、網膜というカメラのフィルムにあたる重要な膜があり、ここに多くの毛細血管が分布しています。糖尿病患者の血液は糖分を多く含み、粘性が高いため、毛細血管をつまらせたり血管壁に負担をかけます。そのために網膜に酸素や栄養が不足し、眼底出血や硝子体出血などの症状を示す「網膜症」となります。網膜症は進行過程にしたがって、単純網膜症、前増殖網膜症、増殖網膜症の3段階に分けられます。進行状況で、レーザー治療や硝子体手術などの治療が必要となることがあります。



糖尿病網膜症

定期的な眼科受診を!!

初期の段階では、ほとんどの患者さんに自覚症状が現れないことから、眼科を受診しないケースが少なくありません。しかし自覚症状が出てからでは手遅れのことが多いのです。糖尿病と診断されたら自覚症状の有無にかかわらず、必ず眼科で検査を受けてください。下記の眼科受診の目安を参考にさせていただきます。

精密眼底検査の目安

網膜症のない人	1年に1回
単純網膜症	3~6ヶ月に1回
前増殖網膜症	1~2ヶ月に1回
増殖網膜症	2週間~1ヶ月に1回

糖尿病網膜症は、早期発見・早期治療と考えております。当院眼科では、まず現在の状況を十分に説明し、今後の治療方針について患者自身に十分にご理解いただくように努めております。何かご不明な点があれば、お気軽にご質問ください。

眼科医師 新田 憲和

病棟紹介 —西4階病棟—

外来で来院される患者さまには普段あまりなじみのない入院病棟について特集します。当院の5つある病棟のうち、今回は西4階病棟のご紹介です。

当病棟は、入院ベット数56床を有する、外科・整形外科・泌尿器科の3科混合の外科系病棟です。スタッフは29名、看護師26名(内男性看護師は4名)・看護助手3名の10:1看護体制をとっております。お互いを思いやる心をモットーに、チームワークがとれた、とても明るく・活気あふれる職場です!

主に私たちは、手術を必要とされる患者さまのケアが中心となる為、専門的知識・技術が常に必要とされます。術前術後の精神的ケアはもちろん・身体的ケアを含め、個々の患者さまの日常生活の自立に向けた援助を行えるように、医師を中心とした勉強会の開催・チームカンファレンスを常に行い、患者さまに安心して納得のいく入院生活を送っていただけるよう、笑顔と体力で日々頑張っています。

新たに看護長となった山本と看護主任の中村を中心に、4月からはフレッシュな新人看護師4名を加えてのスタートとなりました。同じく4月から当院の整形外科に、再度希望して戻って来て下さった田中先生・鮫島先生と共に、新たに紅一点、女医の矢津田先生が赴任されました。また、外科は、若さとやる気のある高浪先生を迎え、4名体制で毎日の治療・手術に対応しております。

リハビリや医療連携室など、他職種のスタッフとの連携を密にとりながら、患者さまにとって一番良い医療とは何かを常に考え・安全で安心な看護が提供出来るように、努力してまいります。どうぞよろしくお願い致します。



新任ドクター紹介

1月に1名、4月に5名のドクターが赴任いたしました。どうぞよろしくお願い致します。各ドクターの外来診療日や専門については7ページをご覧ください。

外科 やなぎた ひろえ 柳田 展江

本年1月より外科に勤務しています柳田と申します。

九州大学第一外科からの派遣です。外科一般、消化管内視鏡検査等を担当していますが、中でも乳腺疾患、消化器疾患を中心に診療したいと思います。また、正確な診療と丁寧な説明によって地域医療への貢献を目指したいと思いますので、よろしくお願い致します。

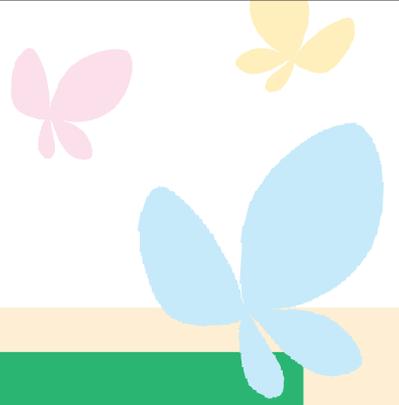


外科 たかなみ ひでき 高浪 英樹

4月に九州大学第一外科より赴任しました高浪です。

胃や腸を中心に、乳腺、ヘルニア、肝臓、胆のう、膵臓など幅広く担当させていただいております。患者さまへの負担の少ない腹腔鏡手術に特に力を入れたいと思っております。これからも頑張りますので、よろしくお願い致します。





リウマチ科 みるごう いさお 古郷 功

4月に北九州市立医療センターから当院リウマチ科に赴任しました古郷です。

リウマチ・膠原病を中心に診療させていただいております。この5-6年間で関節リウマチの標準治療はかなり変化しています。従来のDMARDs、特にMTXを中心とした治療を行っても効果がなかった症例に、レミケードやエンブレルといった生物学的製剤を投与することで寛解に持っていける症例も多数経験しました。当院でも早期診断・早期治療に努めて地域に標準治療を広めたいと思います。宜しくお願い申し上げます。



整形外科 さめしま ひてかず 鮫島 秀一

4月から整形外科で勤務しております鮫島です。

当院には3年前に1年間勤務させていただいております。今年はオーダリング・電子カルテの導入、DPC準備など、病院のシステムが大きく変わる年と聞いております。変化の波を鮫のごとくすみやかに泳ぎきり、診療をこなしていきたいと思っております。図らずも膝関節の疾患を多く扱う病院での研修の機会に恵まれました。これからも研鑽を積み患者さまの加療に役立てたいと思っております。



整形外科 たなか ともあき 田中 智頭

4月より、当院整形外科で勤務している田中です。

本来であれば、2年前に就職予定だったのですが、結局1年間、佐世保の方で研修することとなってしまいました。

今回こそ就職ですので、他の研修施設で学んできたことも生かしつつ、リウマチ疾患を中心に門司に根づいた医療をと考えています。宜しくお願い致します。



整形外科 やっただ けい 矢津田 圭

4月より当院整形外科に赴任してまいりました矢津田と申します。

今年3月までは九州労災病院に勤務しておりました。当院整形外科では外傷をはじめ、関節、脊椎疾患などの幅広い運動器疾患に対し診療をさせて頂いております。地域の皆様のADL(日常生活動作)向上のお役に立てるよう、質の高い医療を目指して頑張りたいと思っております。どうぞ宜しくお願いいたします。



地域医療ネットワーク～診療所のご紹介～

JR九州病院の近くにある診療所をご紹介します。互いに連携をとりながら、地域のみなさまの健康維持に貢献したいと思っております。

くらもと内科医院



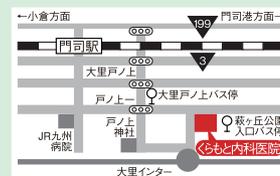
院長 木村 洋一

当院は主に胃腸病、肝臓病が専門で、内視鏡検査や超音波検査が迅速に可能です。また糖尿病や高血圧などの生活習慣病を含めた内科全般に対応し、さらに「禁煙外来」も開設し保険診療による禁煙治療を行っています。昨年「ものわずれ外

来」も新設し、認知症の外来治療から施設利用による介護にまで幅広く対応しています。安心して長期にお付き合いのできる身近なホームドクターを目指し、さらにJR九州病院との病診連携を深めて、地域の医療に貢献できればと思っております。今後とも宜しくお願いいたします。

【併設施設】訪問看護ステーション、
小規模多機能居宅介護（居宅・通所・短期入所サービス）

【診療科目】 内科・消化器科・胃腸科
【資格・認定等】 日本内科学会認定専門医／日本消化器学会専門医／
日本肝臓病学会専門医



【診療時間】（月・火・水・金）9:30～12:30/14:30～18:00
（木・土）9:30～12:30

【休診日】日曜・祝日

【住 所】北九州市門司区大里戸ノ上2丁目3-25
（JR門司駅より徒歩10分、駐車場あり）

【TEL】093-372-5200

あすかクリニック



院長 八坂 明日香

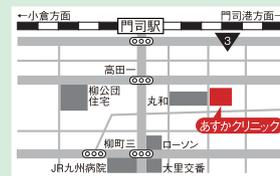


平成16年11月に開業しました。一般内科・循環器科で診ています。

JR九州病院には患者さんの検査、入院、救急で大変お世話になっています。

今後ともよろしく願いいたします。

【診療科目】 内科・循環器科



【診療時間】（月・火・木・金）9:00～12:00/14:00～18:00
（水・土）9:00～12:30

【休診日】日曜・祝日

【住 所】北九州市門司区柳町1丁目9-22
（JR門司駅より徒歩5分、西鉄門司駅バス停より徒歩3分）

【TEL】093-381-8088

診療のご案内

平成20年4月1日現在

		月	火	水	木	金	備 考
内科 〔循環器内科・ 神経内科・ 皮膚科〕	午前	1	林 田	林 田	森 田	林 田	森 田
		2	古 郷		古 郷		古 郷
		3	森 田	横 川	梶 山	梶 山	横 川
		5	龍 尾	龍 尾	武 田	龍 尾	柴 田
		6	向 井	向 井	村 田	向 井	村 田
		循	※有田	安 田	廣 島	安 田	安田(潮)
	午後	村田※河村	村 田	担当医	横 川		※第3月曜日 岩淵先生 ※神経内科 月曜午後のみ
腹部エコー		村 田	古郷(村田)	向 井	森田(古郷)	向 井	心カテ：月 水 木
内 視 鏡	午前	横川※高浪	柴田・森田・柳田	横川・龍尾※高浪	横川・武田・柳田	龍尾※大畑	※午前中手術がある場合 施行できない場合があります
	午後	横 川	柴 田	武田(横川)	武田(横川)	柴 田	
心 機 能 ド ッ ク			安田(午後)	安田(午前)		安田(午後)	
外 科		向 井	古 郷	村 田	森 田	龍 尾	手術日：月 水 金 検査日：火 木 乳癌検診：毎日 (女性医師希望は月・水・金)
		亀井・柳田	大畑・高浪	亀井・柳田	大畑・高浪	亀井・柳田	
整形外科	1	岡 本		岡 本		岡 本	手術日：火 木 検査日：月 水 金 午後
	2	田 中	田中(第1・3・5) 矢津田(第2・4)	矢津田(第1・3・5) 田中(第2・4)		田 中	
	3	鮫 島		鮫 島	鮫 島	矢津田	
泌 尿 器 科		江 頭	江 頭	江 頭	嘱託医	江 頭	手術日：火 木 検査日：月 水 金 午後 嘱託医(第2・4木)
眼 科		新 田	新 田	新 田	新 田	新 田	手術日：水 木 検査日：月 火 午後
放 射 線 科		鳥井原	鳥井原	鳥井原	鳥井原	鳥井原	CT・MRI要予約
耳 鼻 科			嘱託医		嘱託医	嘱託医	
医 療 相 談 室		古 川 (社会福祉士)					

診 療 日 月曜～金曜 **休 診 日** 土、日、祝祭日 **病診連携** CT、MRI、各種RI検査、土曜午前中入院受入(内科・外科)
救急体制 昼／可 夜／当直一人制(診療受付についてはお問い合わせください。)
受付時間 午前診療 8時30分～11時30分(但し、整形外科は8時30分～11時00分/水曜日は11時30分まで)
 ※初診の方は必ず11時00分までにお越しください。
 午後診療 12時45分～16時30分(内科 月～金/神経内科 月のみ)

医師の専門領域のご案内

内 科	氏 名	専 門 領 域	外 科	氏 名	専 門 領 域
	林 田 一 洋	肝臓病・消化器		亀 井 隆 史	上部消化管・血管/呼吸器・腎不全外科
	村 田 博	脳卒中・リハビリ		大 畑 佳 裕	下部消化管・痔疾患・ヘルニア・乳腺内分泌
	向 井 亮	感染症・肝臓病		柳 田 展 江	外科一般・乳腺内分泌・女性専門外来
	横 川 省 一	消化器・気管支鏡		高 浪 秀 樹	外科一般・肝胆膵・腹腔鏡外科
	森 田 千 絵	肝臓病・消化器	整形外科	岡 本 安 弘	脊椎外科
	龍 尾 浩 信	感染症・消化器		鮫 島 秀 一	膝関節
	柴 田 道 彦	消化器・糖尿病		田 中 智 顕	リウマチ
	武 田 賢 一	消化器・糖尿病		矢 津 田 圭	整形一般
	梶 山 憲 治	リウマチ・膠原病	泌尿器科	江 頭 稔 久	尿路性器感染症・泌尿器
リウマチ科	古 郷 功	リウマチ・膠原病		眼 科	新 田 憲 和
循環器内科	安 田 雄 一 郎	循環器	麻酔科		瀬 戸 口 薫
放射線科	鳥 井 原 盛 子	放射線診断・画像診断・消化管造影(胃・大腸)			

	非 常 勤 医 師	診 察 日	
循環器内科	小倉記念病院 部長	岩 淵 成 志 有 田 武 史	第3月曜日外来診察 毎週月曜日外来診察(第3月曜日除く)
	小倉記念病院	廣 島 謙 一	毎週水曜日外来診察
		安 田 潮 人	毎週金曜日外来診察
	神経内科	九州大学神経内科	河 村 信 利

Information JR九州病院からのお知らせ

旬の味だより ～この季節にピッタリの料理をご紹介～



たけのたけご飯

材料・4人分

たけのこ…… 200g
米…………… 2合
鶏ひき肉…… 100g
なばな……… 80g

(A)

だし汁……… 2カップ
さけ………… 大さじ2
濃口醤油…… 大さじ1
塩…………… 小さじ1/2
木の芽……… 適量



【1人あたりの栄養成分】

カロリー……… 327kcal
たん白質……… 13.2g
塩分…………… 1.1g

作り方

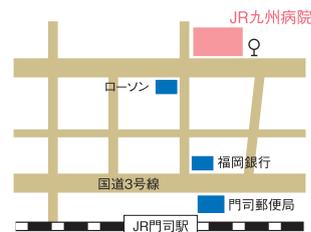
- 1、米は炊く前30分前にとぎ、15分ほど水に浸してから、ざるにあげておく。たけのこは穂先を薄いくし切りに、根元は薄いいちよう切りにする。
- 2、炊飯器の内がまに米と調味料Aと鶏ひき肉を加えて軽く混ぜる(肉がバラバラになる程度)。上にスライスしたたけのこを平にのせて普通に炊く。
- 3、菜の花は沸騰したお湯に塩を少し入れ(分量外)、さっと茹でて水にさらし、かたく絞って3cmくらいの長さに切る。
- 4、炊き上がったら、全体を軽く混ぜ、食べる直前に切った菜の花と一緒に混ぜて器に盛り付ける。あれば、木の芽のをのせる。

春と言えば、たけのこですね！
最後になばなを加えて、彩りを添えてみました。
天気の良い日には、お弁当を持って、
外で食事をするのも気持ちがいいと思いますよ～。

JR九州病院 管理栄養士 佐伯 昌子



JR九州病院のご案内



〒800-0031 北九州市門司区高田2丁目1番1号

TEL 093-381-5661

FAX 093-381-1077

JR門司駅から徒歩5分/西鉄/バス高田二丁目下車徒歩1分

JR九州病院 ホームページ

<http://www.jrkyushu-hospital.jp/>

【当院理念】

私たちJR九州病院は、
安全で良質な医療サービスの提供を通じて、
安心して暮らせる地域づくりに貢献します。

編集後記 吉田 利枝

春です。新しい年度のスタートです。当院にも新しい医師が5人着任いたしました。私的なことで言えば長い冬の間体を動かしていなかったので、何かスポーツでも始めてみようかと思っています。歳を重ねるにつれ新しい事にチャレンジすることが億劫になってきているのですが、ここはひとつ気合をいれてメタボリック対策!三日坊主にならないように頑張りたいと思います。



想(そう) 春号(通巻8号)

平成20年5月1日発行(季刊)

発行人：林田 一洋(JR九州病院 院長)

JR九州病院 広報委員会「つばめ」

副 院 長 亀井 隆史

事 務 長 梅田 純一

看 護 部 平 八重子 安成 康介

薬 剤 科 白江 泰代

中央放射線室 永井 嘉明

リハビリテーション室 木部 竜也

中央検査室 有吉 大悟

総 務 課 吉田 利枝 吉原 健

発行：JR九州病院

北九州市門司区高田2丁目1番1号

TEL 093-381-5661

編集：株式会社ジェイアール九州エージェンシー

印刷：福岡印刷株式会社